

令和5年度 第4回羽島中学校学校運営協議会 議事録

1	日 時	令和6年2月20日（金） 15:00～16:30
2	場 所	羽島中学校 図書室（北舎2階）
3	出席者	17名 小熊町・新生町自治委員会長、正木町自治委員会長、小熊コミュニティセンター館長、足近コミュニティセンター協議会長、小熊コミュニティセンター協議会長、正木コミュニティセンター協議会長、足近地区主任児童委員、足近地区主任児童委員、小熊地区主任児童委員、小熊地区主任児童委員、正木地区主任児童委員、地域コーディネータ、地域コーディネータ、地域コーディネータ、PTA会長、羽島中校長、羽島中教諭
4	議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長挨拶</li> <li>2. 今年度の活動報告           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事（修学旅行、若狭研修、体育祭、音楽祭、絆会議）</li> <li>・防災教育（校内DIG、防災訓練、防災講演、自炊訓練）</li> </ul> </li> <li>3. 学校評価（保護者アンケート）より</li> <li>4. 会計報告</li> <li>5. 来年度の計画           <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度 行事予定</li> <li>・令和6年度 学校運営協議会の予定</li> </ul> </li> <li>6. 意見交流           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から保護者への配布物は、羽島市 15.4%、岐阜市 85.7%がメールで案内をしている。公立出願もデジタル化している。羽島中もICTを生かしつつ進めている。</li> <li>・生徒が地域の行事に参加している割合が低い。貢献したいという意識は高い。地域がきっかけをつくってあげることが大事である。</li> <li>・学校運営協議会に生徒が参加した方がよい。密に話し合うことと、生徒の意見を取り入れていくことが大切であることと、意識のずれをなくすためである。</li> <li>・羽島中学校ならではの特色、先生が働きたくなるような学校づくり、生徒が楽しいと思える学校づくりを意識したい。</li> <li>・体育祭・あいさつ運動・音楽祭を参観した。3年生の服装は統一しており意識の高さを感じた。</li> <li>・中学生は何に没頭しているのかが気になる。</li> <li>・英語の評価をタブレットで行っているが、何を求めているのか。対面が大切ではないのか。だから嫌いになるのではないか。→対面を重視している。タブレットを評価に活用している。</li> <li>・思いやり・ルールなど、ほとんどよい結果である。働き方など社会で騒がれている。ものづくり、自分の手で創りあげるようなものがあって、そこに力を入れてもよい。</li> <li>・授業をたくさんみることができた。教員の勤務時間を考えると、膨大な資料を集計した先生に感謝したい。</li> <li>・多くの若手は教員になりたくないと思っている。相談する機会が少ない。だから授業の質が下がる。そのため研修を積む必要がある。40～50代は学校で多くの体験活動をしてきている。</li> <li>・防災の訓練、中学生は貴重な担い手、活躍できる存在となるから良い。評価は難しいが、項目は一致させる関わるような評価を工夫すると良い。</li> <li>・駅前フェスタ中学生のボランティアに参加はテストと重なり難しい。実働できる協議会でありたい。何らかの形で、引き続き参加できるシステムにできないか。</li> <li>・評価について、コロナが終息へ向かっているから数値も変わってくる。行事変更は、なぜ（何ために）そうしたのかを伝えていきたい。</li> </ul> </li> </ol>
5	連絡等	・参加した方々に来年度も引き続き、学校運営協議会委員になっていただくことをお願いした。

